

令和6年度 保育所等の看護師等配置状況調査集計結果

青森県こどもみらい課調べ
調査時点：令和6年9月1日現在

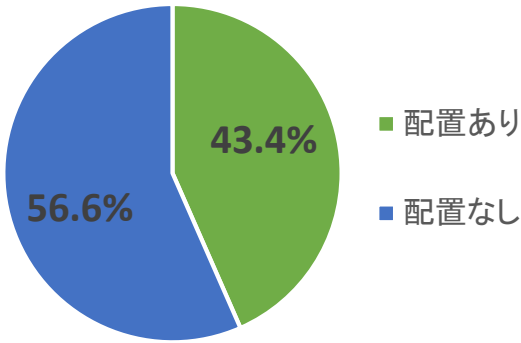
県内の保育施設（562施設）を対象に、看護師の配置状況や医療的ケア児の受入の可否等について調査したもの。
※【】内は令和5年度の数字。

1 看護職員の配置状況

① 配置あり	244 施設	【249施設】
(うち、看護師207名、准看護師115名)		
(うち、常勤看護師134名、非常勤看護師73名)		
(うち、常勤准看護師79名、非常勤准看護師36名)		
② 配置なし	318 施設	【306施設】

看護師・准看護師の主な業務は、多い順に、乳児保育（50.4%）、病児保育（10.4%）、幼児保育（7.8%）、障害児保育（3.4%）、であった。

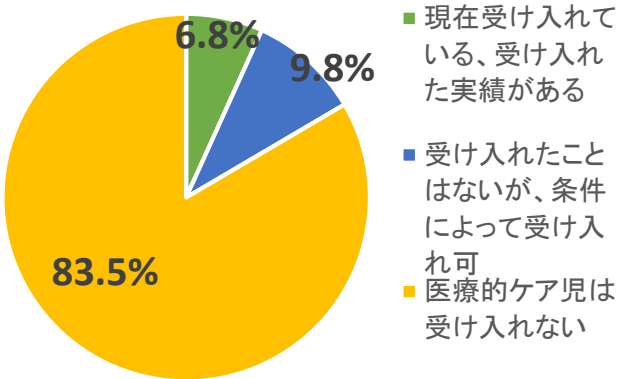
看護職員の配置状況



2 医療的ケア児の受入の可否

① 現在受け入れている、受け入れた実績がある	38 施設
② 受け入れたことはないが、条件によって受け入れ可	55 施設
③ 医療的ケア児は受け入れない	469 施設
受入可能人数（①、②）	92 人

医療的ケア児の受入の可否

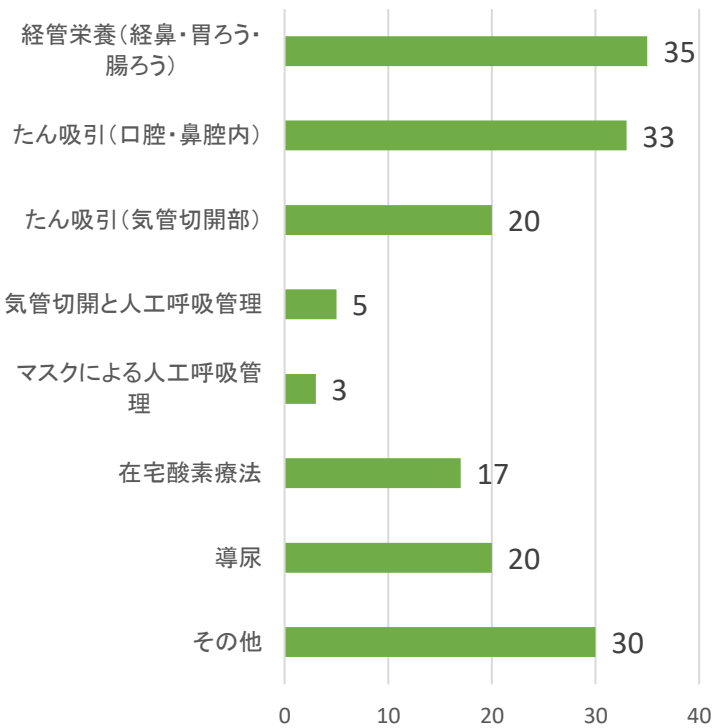


3 提供可能な医療的ケアの種類（複数回答可）※相談があれば検討する場合は含まない

① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	35 施設	【30施設】
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	33 施設	【29施設】
③ たん吸引（気管切開部）	20 施設	【17施設】
④ 気管切開と人工呼吸管理	5 施設	【3施設】
⑤ マスクによる人工呼吸管理	3 施設	【5施設】
⑥ 在宅酸素療法	17 施設	【8施設】
⑦ 導尿	20 施設	【14施設】
⑧ その他	30 施設	【20施設】

提供可能（または検討可能）な医療的ケアの種類は、経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）が最も多く、たん吸引（口腔・鼻腔内）、次いでたん吸引（気管切開部）、導尿の順となった。その他の内容は、インスリン注射が多くを占めている。

提供可能な医療的ケアの種類



4 受け入れ可能の場合の年齢等条件

主な内容

【児童の状態】

- ・集団保育・生活が可能であること。
- ・災害時、避難行動に耐えられること。

【看護師の配置状況等】

- ・看護師や保育教諭の配置体制が整えば可能。
- ・近隣の病院から看護師を派遣してもらうこと。
- ・看護師1名配置のため、不在の場合に受け入れ可能日の制限があること。

【その他】

- ・バリアフリー構造ではないため、車椅子使用の園児の対応はできない。
- ・家族の協力が得られるのであれば受け入れるか検討したい。
- ・子どもの安全を確認できる場合は受入れ可能。

5 医療的ケア児の受け入れに係る相談

相談の有無（令和5年度～令和6年9月1日）

あり	34 施設
なし	528 施設

6 令和6年9月1日現在で受け入れている医療的ケア児数

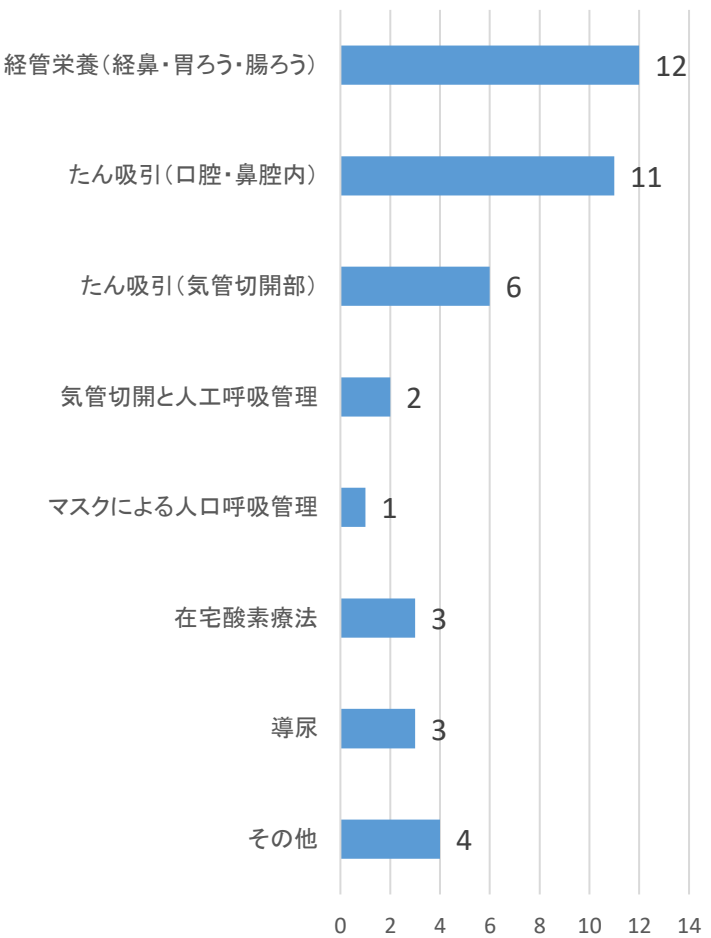
27名（16施設） 【21名（16施設）】

※0歳2名、1歳3名、2歳2名、3歳9名、4歳6名、5歳5名

（医療的ケアの内容（重複有））

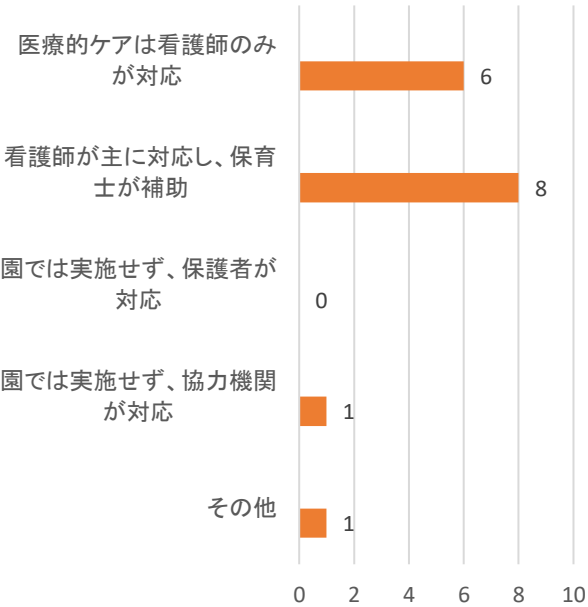
① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	12 名	【10名】
※0歳1名、2歳1名、3歳5名、4歳1名、5歳4名		
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	11 名	【7名】
※1歳2名、3歳5名、4歳1名、5歳3名		
③ たん吸引（気管切開部）	6 名	【6名】
※1歳1名、3歳3名、4歳1名、5歳1名		
④ 気管切開と人工呼吸管理	2 名	【2名】
※3歳1名、5歳1名		
⑤ マスクによる人口呼吸管理	1 名	【0名】
※1歳1名		
⑥ 在宅酸素療法	3 名	【0名】
※0歳1名、1歳1名、4歳1名		
⑦ 導尿	3 名	【3名】
※2歳1名、4歳2名		
⑧ その他	4 名	【4名】

※3歳1名、4歳2名、5歳1名（痙攣発作の管理、胃ろうより投薬、インスリン注射、血糖測定、体温の管理）



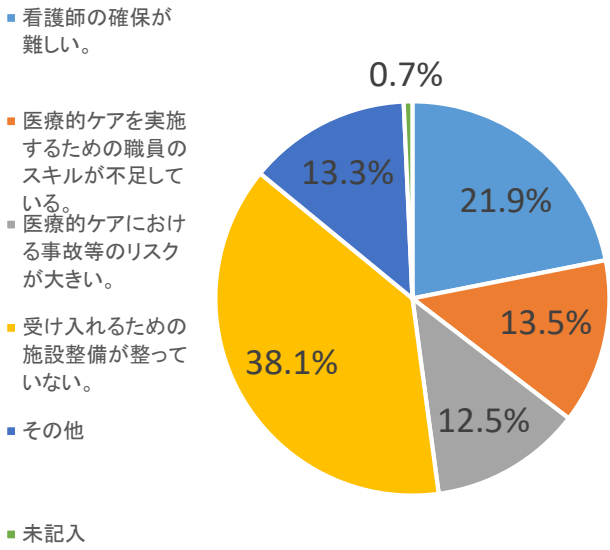
7 上記6の施設における医療的ケアの実施状況

① 医療的ケアは看護師のみが対応	6 施設 【4施設】
② 看護師が主に対応し、保育士が補助	8 施設 【10施設】
③ 園では実施せず、保護者が対応	0 施設 【0施設】
④ 園では実施せず、協力機関が対応 ※県内事例は訪問看護ステーションのみ	1 施設 【1施設】
⑤ その他 ※園の看護師が公休の際は、訪問看護サポートセンターの看護師が対応	1 施設 【1施設】



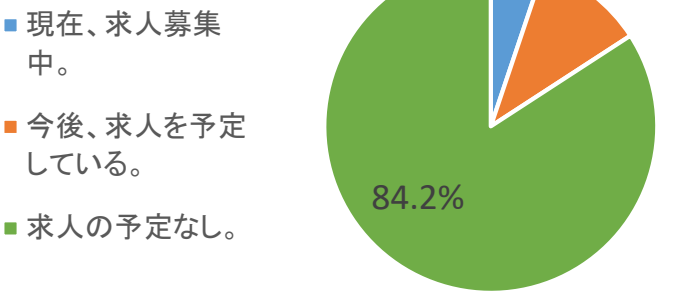
8 医療的ケア児を受け入れるための課題・受け入れない理由

① 看護師の確保が難しい。	123 施設
② 医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している。	76 施設
③ 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい。	70 施設
④ 受け入れるための施設整備が整っていない。	214 施設
⑤ その他	75 施設
⑥ 未記入	4 施設



9 看護師の募集状況について

① 現在、求人募集中。	29 施設
② 今後、求人を予定している。	60 施設
③ 求人の予定なし。 (未記入1)	473 施設



10 求人募集の内容について（9で①と答えた場合）

（主な内容）

雇用形態	雇用期間	就業時間	労働日数
パート、常勤問わない	－	－	－
要相談	－	－	－
正職員	R6.5～R7.3（契約更新の可能性あり）	9：00～17：00	週5日
正社員	定めなし	8：15～17：15	－
非常勤	R6.10～R7.3（契約更新の可能性あり）	9：00～16：00	週6日
正社員	定めなし	シフト制 （8：30～17：30、 10：00～19：00）	週5日
パート	R6.10～R7.3（契約更新の可能性あり）	7：00～19：00の間の 8時間	週5日
正職員・パート	随時～R7.3（契約更新の可能性あり）	8：20～17：00	週5日
正職員	－	8：00～17：00	週5日

11 県ナースセンター（ナースバンク事業）について

① 知っている。 275 施設

② 知らない。 287 施設
（未記入6）

12 ナースセンターに求人登録あるいは相談をしたことがあるか。（11で①と回答した場合）

① ある。 38 施設

② ない。 237 施設
（未記入4）

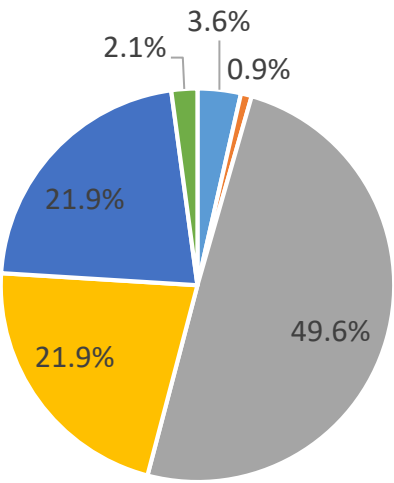
13 介護職員等医療的ケア研修（喀痰吸引等研修）の3号研修の受講状況等

① 受講あり 32名（26施設）

② 受講なし （529施設）

14 介護職員等医療的ケア研修(喀痰吸引等研修)の課題・問題点

① 研修費用の負担が大きい。	20 施設	■ 研修費用の負担が大きい。
② 研修場所が遠い。	5 施設	■ 研修場所が遠い。
③ 研修による職員不在時、業務体制に支障が出る。	279 施設	■ 研修による職員不在時、業務体制に支障が出る。
④ 研修回数が少なく、受講するタイミングが合わない。	123 施設	■ 研修回数が少なく、受講するタイミングが合わない。
⑤ その他	123 施設	■ その他
⑥ 未記入	12 施設	■ 未記入



15 重症心身障害児受入

① 可	10 施設
② 不可	552 施設
(未記入 18 施設)	

16 保育所等における医療的ケア児の保育を推進するために有効だと考える対策（複数回答可）

① 医療的ケア児の支援に関する保育士等向け研修の実施	306 施設	■ 医療的ケア児の支援に関する保育士等向け研修の実施
② 医療的ケア児及びその支援方法の周知	268 施設	■ 医療的ケア児及びその支援方法の周知
③ 職員のリスク・不安を軽減するためのバックアップの充実	437 施設	■ 職員のリスク・不安を軽減するためのバックアップの充実
④ 医療的ケア児の支援に係る多職種連携の推進	277 施設	■ 医療的ケア児の支援に係る多職種連携の推進
⑤ 看護師雇用のための支援	337 施設	■ 看護師雇用のための支援
⑥ 経営上の財政的支援	356 施設	■ 経営上の財政的支援

